とかち新聞
主筆　松山明
(発行所) 北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話1351番
本紙購読料　1部25円　1カ月75円　1カ年前納750円

総合開発計画を策定

学校統合は小一八、中一四が目標

足寄町議会

臨時第一回足寄町議会は一月二十九日午前十時四分に開会、会期を一日としてまず四十二年度各会計の決算認定についてを上程、安久津代表監査委員から監査意見の説明があつてから決算特別委員会を設けて審査することになり、委員は各常任委員から二名づつ（香川、福本、宮口、大野、矢野、多田坂栄、吉田、斉藤祐一の八議員）の委員をあげ、宮口委員長、矢野副委員長を互選しました。

公民舘車の事故で賠償

ついで損害賠償の額を定めることについてを上程、昨年の六月二十九日に公民舘車がスポーツ少年団員七名を乗せて上ラワン道路の橋にさしかかつたさい、橋が高いために前方からオートバイの斉藤実氏を発見して急ブレーキをかけて横へさけたか斉藤氏は気づかずに前進してきたので、これに誤つて接触して入院治療三十四日間の重傷となつたので賠償法による治療、休業補償　一九三、〇八二円　対物補償一八、〇九六円　見舞金　三〇、〇〇〇円　それぞれの額を決定しました。

体育費に異議

ついで一般会計補正予算案を上程、母子健康センターに胎児吸引遂べん器購入と助産婦増員、牛流感予防薬品代、自動車損害賠償金スケート大会報償費など五十五万四千円を計上

伊藤議員　スケート大会に二万円の報償金というが奉仕団体なのか営利団体なのか一万五千円の食糧費をみているが参加団体への旅費をみていないのは片手落ちでないか、体協育会に二万円を補助するが、すでに六十万円出しているのに要求があればいくらでも出すのか

岡教育長　スケートリンクの維持に困難性があり明日の大会には今晩から徹夜でやつている、他から技術者を雇い入れるのは大変なので食糧費を計上して日当はなく奉仕して頂いている

小林町長　要請があればいくらでも出すというのではなく、今日の場合は町の主催の全町的な大会であつて体位向上のためで、全国的レベルに達しているのに犠牲的負担をしており当初から体育協会を掌握していなかつたが、本年度以降は充分につかんで適正効率的なものにしたい、年度途中の追加となつたのはテマヒマと金銭的な犠牲をはらつているので補助したい

我妻議員　スケートリンクに立派な照明灯がついたがこのリンクを実際に守つているのは選手の父兄が三名か四名で四百戸の大きなリンクでは困難である、これを守るのは町でなければならない、善処して頂きたい

などの論議があつて原案どおりに決定しました。

議員協議会で検討へ

総合開発計画の内容

つぎに足寄町総合開発計画の策定について報告

谷開発課長　総合的町づくり計画の作業は四十二年に発足し蛯名教授の指導により昨年十月に総体的審議をおわつた、四十三年から五十二年までの計画で、十カ年のうち第一期の四十三年から四十六年までの資金計画は樹てたが、四十七年以降は国、道の計画、経済の推移との時点で樹立したい、四十三年の九億円はほとんど達成した

福本議員　この計画が完成すれば町民の所得の伸び率はどのくらいか

谷開発課長　町全体の所得の伸び率は難しいが農民の分はつかんでおり、第一期で一戸あたり八十五万円、五十二年には百三十万円となる、現在は平均四十万円から五十万円である

福本議員　基盤整備が大切で投資したものが活かされなければならないが牛のパンフレットで、農家の自然減少を拡大してゆくというが、喜登牛などは離農して残つた土地は十町歩三十万円足らずだが市街を中心にラワン、上足寄方面は高い、借金して酪農はどうか、計画性が出ていない

谷開発課長　農地といわず足寄は土地が高い、可耕地がすくないためで、離農跡地を安くするわけにゆかず町内の適正価格を農委や農協のあつせんによりたい、開拓者の離農補助は一般農家にも適用してゆくといわれており、大規模草地やパイロットで農地拡大をはかりたい

香川議員　向う十カ年の計画書の内容をここで質問するのは難しいので三月の定例会までに審議したい

大滝議長　これは報告であつて議会の議決や承認を得るものではない、道の見解もそうであつた

神本議員　議会へ提出された以上、会期を延長して審議すべきだ

鳴海議員　内容は基本的なもので当然なものだから異議はないが、年次計画の数字的な裏づけがないからその資料を請求すればよい

などの点でなんども休憩して協議した結果、二月中に議員協議会をひらいて計画書を検討することで一致そのものも基盤整備の対象となるべきでないか

神本議員　長いあいだ時間と経費をかけての内容だが、これは作文で町政の単なる目標をつくつたのか裏づけをきかせてほしい

谷開発課長　各部会で審議して頂き具体的な資金計画はある、地味ではあるがやつていける

神本議員　文化的に教育的に経済的に引き上げられその結果どうなるのかききたい

谷開発課長　農家については現在の一千六十戸を九百戸とし一万㌶の農耕地を一万五千㌶となる

阿部議員　これは統計

難しい上利別と大誉地の統合

このあと教育委員会からの行政報告があり

新津教育委員長　当面する学校統合の計画について二十五日の委員会で慎重に審議した、児童、生徒がへり単級、複式の学校が多くなり適当でないのでさらに統合せねばならない、中学校は四十六年までに足寄芽登、ラワン、上利別一大誉地の拠点四カ所にしたい茂喜登牛中は四十四年に西中へ稲牛、中足寄は東中へ理解を願いたい、上利別一大誉地の問題は見通しは暗いが常識的に中間地点に決定される、鷲府は上利別へ統合の計画だつたが行動範囲から足寄へ統合するように考えている、四カ所とも六学級編成ができる、旭丘は町の財政上急には統合できない、小学校は十校内至十一校の考えだができれば複式、単級をさけて最終的には八校くらいになる

岡教育長　鷲府が足中へ統合したいとのことで本年度統合を内定して人事の問題、校舎の整備などスムーズにすすめたい、上利別一大誉地地区の問題は四十五年度中にメドをつけ四十六年度に完成したい、困難性はあるができれば円満にすすめたい、小学校も同時に統合の希望があり、できれば鷲府、愛冠、稲牛、上足寄、喜登牛も統合をすすめ、開拓の可能性もあるが八校になるかもしれない

スクールバス十二台に

遠山議員　旭丘はどうするのか

岡教育長　現在の状況は離島的な立場で産業道路の改良によつて二、三年中に芽登へ統合したい

遠山議員　義務教育の在り方から旭丘を放置してよいか、道路が障害なら考えるべきではないか

小林町長　総合計画のなかにもあり、道路の障害はできるだけ措置したい

遠山議員　スクールバスは大型でなければ通れる集乳路線に入つていないので上士幌へ出荷しているが本年からこちらへ入れたい集乳ともからみ合せてなんとか教育問題を解決するため道路を整備してゆきたい

伊藤議員　四十六年に統合が完成すればスクールバスは何台となるか、管理をどうするか、入れ替えの必要があるが見通しはどうか

岡教育長　将来は十車が必要で予備一車と合せ十一となり、旭丘への道路が整備すれば十二車になる、整備士は現在一名兼任でいるが将来専任者をおく、入れ替えは六年間で消耗するのでとり替えるが補助は一車百万円で、管理運営については当該校長に委託して配慮してゆく

などの質疑があつて報告を諒承しました。

失保法改悪阻止の請願採択

おわりに、全林野労組足寄分会（佐々木和男委員長）から提出の失業保険法改悪阻止に関する請願を上程、紹介の矢野議員から説明があつて、これを満場一致で採択して政府にたいする意見書の起草を総務委員会に付託したあと、その報告によつて意見書の一部を修正して政府や国会議員に送付することを決定して、午後二時三十五分に閉会しました。

なお、決算特別委員会は二月六日から十二日まで。

○…新年第一回の足寄町議会の主要案件は決算認定についてであり、これはいづれ委員会付託になるだろうから本会議は午前中でおひらきとみられていたところ営林署労組からの請願が割り込んできたので昼食もとらないままにズルズルと午後二時半すぎまでの空腹議会。

○…大滝議長が『本請願を採択するのに異議はないか』とはかつたところ別になんの反応もなかつたので『請願は採択に決定』と宣言するや伊藤議員があわてて『異議あり』と発言したので大滝議長は「ほかに異議のある方は…』とはかつたが同調したのは遠山議員だひとり。

革新王国？足寄

○…そこですかさず大滝議長は『会議規則第八十三条により三人以上でないから異議は認められない』として異議申し立てを却下。

○…町議会は自民党支部長代行の新沼議員や同幹事長の伊藤議員をはじめ自民党支持の議員が多い筈なのに、その白民党政府がいまの国会に提出しようとしている法律改正案にたいして「改悪阻止」の請願が満場一致でまかり通つたのは、足寄の自民党は勤労者への理解が深いのか、町議会対策が不充分なのか、いずれにしてもいまの町議会には関しては革新派の王国？